

# 上尾歴史散歩

251 上尾の古い地名をこう

## ■平方新田を訪ねる

「ぐるっとくん」を上野北で下車し、百三十メートル余り西下すると、信号のある県道交差点となる。右折して二百五十メートルも北上すると、今度は細い東西道路が交わる信号のある交差点となる。左折して西方を指して進むが、大通りから一步内側に入ると、農地と屋敷森のある家が点在している情景に出合う。この辺りは旧平方町の新田地域で、小字は「太夫」である。太夫の北に小字の「在家」があり、西南は「石井戸」、西北は「小塚・丸山」である（『武蔵国郡村誌』）。

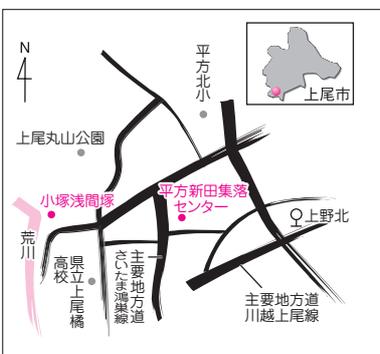
江戸初期の平方村は村高七百四十石余りの大村である。その中に平方新田も含まれており、独立して一村を成していたわけではない。しかし川越道に面した地域が、宿継場・河岸場という街村の性格を持っていたのに対し、太夫・小塚などのこの辺りは、農業主体の村柄を呈していたとみられる。平方新田がやや独立した地域を構成していたのは、このような村柄に基づくと推定される（前掲書）。

大通りの交差点から二百メートルも歩くと、道は二つ



神明寺跡地の平方新田集落センター

に分かれる。右手の道を西下するが、この辺りも屋敷森のある家が点在している。三差路から三百メートルも歩くと、右手に平方新田集落センターが見えてくる。ここは江戸時代の神明寺の跡地で、明治初期に廃寺になった所である。同寺は村民の開基と伝えられ、開基の村民は寛文六（一六六六）年に亡くなったといわれる。集落センターからさらに西下すると、広い道路に交差する。この道路は主要地方道さいたま・鴻巣線で、平方と桶川方面をつなぐ道路である（前掲書・『新編武蔵風土記稿』）。



主要地方道を五十メートルほど南下し、細い道路を右折して西へ向かって進む。五百メートルも歩くと南北の道路に遭遇するが、右折して今度は北上する。七十メートルも歩くと、広い東西道路の交差点となるが、ここは「丸山公園入口」の交差点である。左折して二百メートルも歩くと、荒川土手の北端に位置する小塚の集落となる（『上尾市地形図』）。

小塚には浅間塚があり、市指定の文化財になっている。塚の高さは約四・六メートル、頂上には文化十三（一八一六）年の石祠がある。明治期の富士登山講中の記念碑もあり、幕末から明治へと浅間信仰の盛んな様子を伝えてくれる。毎年七月一日には初山行事も行われ、今でも赤ちゃん連れの参拝者で大変なにぎわいをみせている（『上尾の指定文化財』）。

（元埼玉県立博物館長・黒須茂）



○に入る文字や数字を当ててください。

平成22年国勢調査の結果、  
上尾市の確定人口は〇〇万3,926人です。

（ヒントは2ページ）

【賞品】 正解者の中から抽選で5人に、粗品を差し上げます。

【応募方法】 はがきかメールにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、『広報あげお』の感想を記入して、2月21日(火)まで(必着)に上尾市広報課「わくわくクイズ係」へ。

あて先：〒362-8501本町3-1-1  
メールアドレス：s55000@city.ageo.lg.jp

【発表】 賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。 ※正解は3月号のこのコーナーで。前号の答えは「シール」でした。ご応募ありがとうございます(応募者56人)。

## 市の人口・世帯

(平成24年1月1日現在)

22万7,235人

男/11万3,476人

女/11万3,759人

※前月より78人減。

9万3,084世帯

◆『広報あげお』は、各支所・出張所、JR上尾駅・北上尾駅の他、市内の各公共施設、金融機関などに置いてあり、自由に持ち帰れます。  
◆環境保全のため、市内の公共施設へのお出掛けは市内循環バス「ぐるっとくん」を利用してください。



本紙は、再生紙を使用しております。